

2021 年度事業報告書

I. 事業環境

2021 年の新設住宅着工戸数(暦年)は、856 千戸(前年比+5.0%)となり、2021 年度は 866 千戸(前年比+6.6%)となりました。市場は幾分回復傾向にありましたが、国際的なサプライチェーンの不安定な状況や原材料の高騰、建設労働者不足など、業界を取り巻く環境は非常に厳しいものでありました。

II. 事業活動

(1) 開口部建材等に関する性能・仕様の普及啓発

1) 建築材料等判断基準WG参画

行政の方針により住宅・建築物の省エネ性能向上を目指す「建築材料等判断基準 WG」が新設され性能表示を含めて検討することとなった。窓の性能表示や建材トップランナー制度への現状や課題の整理を実施、WG へ意見提案を行い取りまとめに参画。

2) 省エネ建材の普及促進

全国 10 ブロック委員に対し、オンラインにて会議を実施して住宅サッシの材質別構成比を示し、現状把握と啓蒙を行った。また、住宅サッシ・防火戸取扱い事業所向け講習会では改正建築物省エネ法、外皮計算に使用する開口部の建具とガラスの説明を加えて行った。

3) 標準規格表の作成

2021 年 4 月改訂版住宅サッシ標準規格寸法に基づき、2022 年春より(一部 2021 年 11 月～)各社カタログ等へ展開予定。

4) 防犯建物部品の普及促進

5 団体防犯建物部品普及促進協議会の幹事協会として、情報共有を行った。

日経セキュリティショーのオンライン展示に参加し、新たなコンテンツ作りを行った。警視庁の要請による防犯実務研修は、11 月に実施した。

5) 住宅サッシ・防火戸取扱い事業所登録制度の運営

住宅サッシ・防火戸取扱い事業所向けの定期講習会はコロナ禍の中、WEB 講習会として 12 回開催。また、事業所向けの情報提供として、会報「窓快」13 号を発刊。

6) CAS(遮煙・遮炎性能防火戸)使用登録制度の運営

・CAS 仕様追加(両開き戸、最小W寸法の拡大)認定において、(一財)建材試験センターより 2002 年当時の鋼製防火戸の遮煙性能試験が有効との見解を引き出した。

今後はこれ以外のCAS要求試験を行う。

・面材接着性能試験企画・実施「令和4年版公共工事標準仕様書」に接着工法が採用された。

7) 環境負荷の低減を目指す自主環境行動計画の推進

新しい自主行動計画に基づき定性及び定量目標について 2020 年度実績を集計。

8) 保守点検についての普及促進活動

予防保全を目的に、サッシの部品破損の前に点検・交換等を推奨する内容の「安全に係る部品交換リーフレット」を、啓発活動の一環として協会一般向けHPへ掲載。

都道府県及び政令指定都市の教育委員会並びに私学担当部署に対して、リーフレットを 11 月に発送。

(2) 開口部建材等に関する統計の作成及び資料の収集並びに情報の提供

1) 2021 年度住宅用建材とビル用建材使用状況調査を実施、発刊

住宅用サッシの高断熱化に伴い、Low-E ガラス、トリプルガラス等の利用率や、日射遮蔽を目的とした外付けシェードの取り付け率、宅配 BOX 採用状況も合わせて調査した。

2) 2022 年度アルミ建材需要予測を公表

3) 樹脂サッシ統計の整備

省エネ建材の普及状況の把握を目的として、樹脂外窓、樹脂内窓、アルミ樹脂複合窓の統計を、4半期毎に樹脂サッシ工業会と共同でデータを集計し、年度計を経済産業省並びに(一社)日本建材・住宅設備産業協会に報告した。

4) 2020 年施行の建築基準法改正を踏まえ、「鋼製防火戸に関する手引き」を改訂し、第4版として発行した。中小企業委員会主催のスチールドア全国研修会のテキストとして使用し、受講者への情報提供を行った。

5) BIMライブラリー技術研究組合対応

BIMライブラリー技術研究組合の BLCJ 建築属性情報 WG(サッシ)に参画。BIM におけるサッシの属性情報の標準化に向けての情報提供とともに会員企業へ情報を提供した。

(3) 開口部用建材等に関する国際標準化への対応

1) ISO/TC162の運営(国際幹事国として)及び WG3、WG4、WG5の推進、委員会開催

2) ISO/TC162: 建具の面内変形追随性試験方法のJIS開発・国際標準提案

(4) 開口部建材等の技術、品質及び規格に関する調査研究

1) 建具(アルミフロントサッシ)接合部の耐力試験・評価方法の整備

アルミフロントサッシの耐風性能向上に資する試験方法の調査を国総研からの委託事業として受託。学識者を含めたフロントサッシ検討 WG を3回開催、2021 年 12 月 25 日付で調査報告書を提出し、接合部試験方法の原案を完成させた。

2) JIS 規格等の維持管理

JIS A 4702(ドアセット)、4706(サッシ)、JIS A 5545(サッシ用金物)の建築専門委員会の対応

3) 新標準化に向けた調査・検討

- ・建具の飛来物衝突試験の実施
- ・窓用シャッターの耐衝撃性の検証試験の実施
- ・窓用シャッターの JIS 化に向けた調査・検証
- ・強風時のあおりの特性分析と基準作りに向けた要素検討

4) 防犯建物部品の技術開発・審査

2021 年度「防犯性能の高い建物部品」通則申請審査による追加品目数は、第 51 次 1 品目、第 52 次 11 品目、第 53 次 3 品目、第 54 次 1 品目

5) 窓の省エネルギー調査研究

建築材料等判断基準WG参画

「Ⅱ. 事業活動 (1) 1)」に同じ。

6) スチールドア検証試験の実施

「Ⅱ. 事業活動 (1) 6)」に同じ。

(5) 開口部建材等の製造業及びそれらの関連業に従事する者を対象とする人材育成事業

1) 資格認定技能検定

① 積算資格認定制度の運営

- ・契約適正化を推進する人材育成の一環として第 20 回「積算資格認定試験」を実施。
- ・コロナ感染予防対策ガイドライン策定、試験運営方法見直し、オンライン説明会の実施、採点の一部外部委託などの対策をとり開催。

受験者 696 名、合格者 409 名。年度末累計資格取得者 4,224 名。

② 登録サッシ・カーテンウォール基幹技能者育成事業

「当初講習」4ヶ所で開催、97 名合格、次年度 3ヶ所で開催 60 名募集

「更新講習」対象者 154 名中 128 名合格。次年度 137 名対象

⇒年度末資格保有者 1,155 名(前年度末+80 名)

③ サッシ施工員の次世代の担い手育成に向けた PR 活動

- ・施工会社事業主に対する建設キャリアアップシステム(CCUS)登録の推進
- ・次世代の担い手確保に向けての協会としてのPR活動として DVD 動画を配布

2) 研修会

① ビルサッシ契約適正化推進活動

2022年3月4日「第17回2021年度ビル建材全国契約適正化推進会議」を開催

『支部・地区における契約適正化推進活動の進捗状況と今後の対策確認』については、支部地区報告シート内容に対して本部から質疑を発信し、支部地区より回答を貰い、報告シートと併記する形式の会議資料を公開することで、16支部地区の契約適正化推進に対する取組み状況を共有する事とした。

② アルミフロント取扱店における契約適正化

フロント取扱店への側面支援として元請・取引先向けに契約適正化リーフレットを作成配布。

『建設業法令遵守ガイドライン』情報を掲載。啓蒙活動を継続推進する。

③ 住宅サッシの契約標準化講習会

全国 10 ブロック対象にWEBにて 12 回実施した。受講者により興味をもっていただく為、従来のテキストと内容を変更、新規テーマ追加。

④ スチールドア全国研修会

WEBを活用して 2021 年 4 月に「スチールドア全国研修会」の開催

スチールドアメーカーの地位向上や業界担い手の育成を目的とし、『スチールドア全国研修会』を開催(2020 年3月末~2021 年4月末)。主催:(一社)日本サッシ協会、(一社)日本シャッター・ドア協会、共催。

受講料は無償とし、テキスト関係は研修講座ページより、受講者自身でダウンロードする形態とした。建築基準法の改正については、SD 部会と協働し「鋼製防火戸に関する手引き」を第 4 版に改訂を行い、販売を始めた。会員企業の多くが望み、若手人材育成に効果的なテーマを選定することで、さらに有効な手段となっていく。多くの要望から、7 月~12 月に再配信した。第2弾として、2022 年 2 月より 7 テーマ、8 動画を追加配信し、DVD 販売を開始した。

(6) 開口部建材等に係わる情報収集及び提言

1) 行政からの各種助成・支援制度情報収集と制度設計への提言

2) 「建築基準法に規定される 13m 以下適用除外」の妥当性検証を目的に、強風等によって発生するアルミフロントの被害について調査を継続した。なお、近年の台風による強風ではアルミフロントでも被害が発生したため、アルミフロント取扱店に対し安全管理徹底のためにリーフレット等で注意喚起をおこなうとともにフロントサッシの施工事例に関する調査を実施。国総研委託業務として全国 10 地域、全 17 物件の施工事例を調査、報告した。

3) BIMライブラリー技術研究組合対応

BIMライブラリー技術研究組合の BLCJ 建築属性情報 WG(サッシ)に参画。BIM におけるサッシの属性情報の標準化に向けての情報提供とともに会員企業へ情報を提供した。

(7) 前各号に掲げるもののほか、本会の目的を達成するために必要な事業

1) 会員企業の情報セキュリティ対策

昨年度より引き続き、2021 年度の 10 大脅威等について、毎月ホームページで紹介した。

情報セキュリティ周知の為、会員企業の皆様に四半期単位でコンテンツをサマリーし、PDF にて、直接送付した。2021 年 12 月廃止が発表された Google サイトの代替となる Google ドライブの運営ルール案を作成した。協会HP情報の引用・転載などに関する利用規約変更案を作成した。

2) 施工管理者安全推進大会を初めてオンラインにて開催。参加者：99 名

以上